





令和8年4月13日

京都工芸繊維大学(松ヶ崎) 11号館等空調改修工事

質 疑 回 答 書 (設 計 図 書)

京都工芸繊維大学施設環境安全課				
課 長	副課長	係 長	主 任	係 員
				

# 質 疑 回 答 書 (設 計 図 書)

令和8年4月13日

工事名 京都工芸繊維大学(松ヶ崎)11号館等空調改修工事

No.	図面・名称	質 疑 事 項	回 答
1	特-01	一般共通事項に石綿含有材料の事前調査が○になっております。今回の工事では、天井材、各種配管の保温材の石綿含有材料(アスベスト関係)は、無いと考えて積算して良いでしょうか、御指示ください。	本工事では石綿含有材料(アスベスト関係)は無いものとする。
2	特-02	工事区分表に天井点検口は機械設備工事の本工事によると明示されております。天井点検口は天井のある部屋のみ各号館各階各室内機1台に対して1ヶ所積算して良いでしょうか御指示ください。	本工事では天井点検口を新設する必要はないものとする。また既存で適切な位置に天井点検口が無い場合は、平面図に記載しているように機器周辺の天井ボードを必要に応じて一時的に取り外し、再取り付け復旧をすとし、特別な天井改修等の内容はないものとする。
3	特-02	工事区分表に分電盤以降の空調電源配線結線は機械設備工事の本工事と明示されております。空調電源配線工事の積算の為、既設電気設備図面をいただけないでしょうか。	14図、17図、22図に既存空調盤として室外機電源を取り出しする盤の位置を図示しているので、そこから電源配線等の工事を行うものとする。
4	3~13	11号館、12号館の室内機更新を行う部屋の内、天井ボードの一時取外し、復旧の場所が明示されていない部屋は天井無と考えて、積算して良いでしょうか、御指示ください。	明示がされていない部屋については、直天井または機器周辺に既設で天井点検口があるとしての積算とする。
5	17~19, 22, 23	4号館、5号館の天井ボード取外し、復旧は各階1ヶ所程度見込むことと明示されております。4号館、5号館の各階は天井内で全てつながっていると積算して良いでしょうか、御指示ください。	4号館、5号館については、階ごとに1箇所程度 一時的に天井ボードの取り外し、再取り付け復旧箇所があることを見込むものとする。
6	17~19, 22, 23	上記の考え方(天井内でつながっている)が不可の場合、11号館、12号館と同様に各室内機1台に対して1ヶ所天井ボード取外し、復旧を積算して良いでしょうか、御指示ください。	No. 5の回答どおり
7	特-02	自動制御設備に配管配線の仕様が記載されていますが、今回工事範囲内に既設集中制御機器の接続調整は無しと考えてよろしいですか。	本工事では機器更新に伴う改修内容のみで、既設集中制御機器の接続調整等はないものとする。

# 質 疑 回 答 書 (設 計 図 書)

令和8年4月13日

工事名 京都工芸繊維大学(松ヶ崎)11号館等空調改修工事

No.	図面・名称	質 疑 事 項	回 答
8	15・24	4号館のガス配管の撤去図面がありますが、4号館の機器のみ全てGHPからEHPへの変更でその他の校舎はGHPの更新と考えてよろしいですか。	本工事での更新(4号館、5号館、11号館、12号館)はすべてEHP機器での更新とする。
9	15・17	4号館がGHPからEHPへ変更の場合、既設空調盤に予備回路はなくブレーカー増設と考えてよろしいですか。	各建物でGHPからEHPに改修する分については、14図、17図、22図に図示している既存空調盤内に既にブレーカーがあり、そこから電源取り出して室外機まで配線・配管を本工事で施工とする。
10	特-01・特-02	冷媒管の保温外装材が不明です。屋内露出と屋外露出の外装材をご指示ください。	本工事では配管等は再利用でのリプレイス更新改修で大がかりな改修は考えてないが、既存機器からの取り外し・新設機器への繋ぎこみ等に伴って保温外装の補修等を行う際は、屋内露出はファインカバー、屋外露出はカラー鋼板またはステンレスでの外装で補修とする。
		以下余白	

令和8年4月13日

# 京都工芸繊維大学(松ヶ崎)11号館等空調改修工事

## 指 示 書

京都工芸繊維大学施設環境安全課				
課 長	副課長	係 長	主 任	係 員
				

# 指 示 書

令和8年4月13日

工事名 京都工芸繊維大学(松ヶ崎)11号館等空調改修工事

※標記工事の設計図書について、下記の通り変更します。

No.	指 示 事 項
1	4～5、12～14図を添付図に変更とする。 図面中、主な変更箇所を□で囲む。
	以下余白

12号館 空調機器表 1 (既存撤去)			
機器番号等	機器仕様	台数	設置場所等
GHP2-2	GHP室外機 既存SGP-H710M3GZ (冷媒ガスR410A 29.5 k g) 冷房能力 71 k W 暖房能力 80 k W	1	12号館屋上 (東)
GHP2-2A	室内機 2方向 既存SGP-SSH45K1 冷房能力 4.5 k W 暖房能力 5 k W	1	(12号)209A室 R×1
GHP2-2B	室内機 2方向 既存SGP-SSH45K1 冷房能力 4.5 k W 暖房能力 5 k W	4	(12号)214B~216A室 R×4
GHP2-2C	室内機 2方向 既存SGP-SSH56K1 冷房能力 5.6 k W 暖房能力 6.3 k W	1	(12号)207B R×1
GHP2-2D	室内機 2方向 既存SGP-SSH56K1 冷房能力 5.6 k W 暖房能力 6.3 k W	1	(12号)214A R×1
GHP2-2E	室内機 2方向 既存SGP-SSH56K1 冷房能力 5.6 k W 暖房能力 6.3 k W	2	(12号)208 R×2
GHP2-2F	室内機 2方向 既存SGP-SSH71K1 冷房能力 7.1 k W 暖房能力 8 k W	1	(12号)207A室 R×1
GHP2-2G	室内機 2方向 既存SGP-SSH71K1 冷房能力 7.1 k W 暖房能力 8 k W	1	(12号)216B室 R×1
GHP2-2H	室内機 2方向 既存SGP-SSH90K1 冷房能力 9 k W 暖房能力 10 k W	1	(12号)209B室 R×1
GHP5-2	GHP室外機 既存SGP-H710M3GZ (冷媒ガスR410A 26 k g) 冷房能力 71 k W 暖房能力 80 k W	1	12号館屋上 (東)
GHP5-2A	室内機 2方向 既存SGP-SSH56K1 冷房能力 5.6 k W 暖房能力 6.3 k W	1	(12号)516B R×1
GHP5-2B	室内機 2方向 既存SGP-SSH71K1 冷房能力 7.1 k W 暖房能力 8 k W	1	(12号)516A室 R×1
GHP5-2C	室内機 4方向 既存SGP-SH71K1 冷房能力 7.1 k W 暖房能力 8 k W	2	(12号)508室 R×1
GHP5-2D	室内機 4方向 既存SGP-SH71K1 冷房能力 7.1 k W 暖房能力 8 k W	2	(12号)509B室 R×1
GHP5-2E	室内機 4方向 既存SGP-SH90K1 冷房能力 9 k W 暖房能力 10 k W	2	(12号)509A室 R×1
GHP1-5	GHP室外機 既存SGP-H710M3GZ (冷媒ガスR410A 28 k g) 冷房能力 71 k W 暖房能力 80 k W	1	12号館屋上 (西)
GHP1-5A	室内機 2方向 既存SGP-SSH71K1 冷房能力 7.1 k W 暖房能力 8 k W	1	(12号)110B室 R×1
GHP1-5B	室内機 2方向 既存SGP-SSH71K1 冷房能力 7.1 k W 暖房能力 8 k W	1	(12号)110A室 R×1
GHP1-5C	室内機 4方向 既存SGP-SH90K1 冷房能力 9 k W 暖房能力 10 k W	2	(12号)103室 R×1
GHP1-5D	室内機 4方向 既存SGP-SH90K1 冷房能力 9 k W 暖房能力 10 k W	2	(12号)101室 R×1
GHP1-5E	室内機 4方向 既存SGP-SH112K1 冷房能力 11.2 k W 暖房能力 13.2 k W	2	(12号)102室 R×1
GHP5-4	GHP室外機 既存SGP-HW560M3GZ+SGP-HW450M3GZ (冷媒ガスR410A 42.9 k g) 冷房能力 56 k W 暖房能力 63 k W	1	12号館屋上 (西)
GHP5-4A	室内機 2方向 既存SGP-SSH56K1 冷房能力 5.6 k W 暖房能力 6.3 k W	1	(12号)503B R×1
GHP5-4B	室内機 2方向 既存SGP-SSH71K1 冷房能力 7.1 k W 暖房能力 8 k W	1	(12号)512A室 R×1
GHP5-4C	室内機 2方向 既存SGP-SSH90K1 冷房能力 9 k W 暖房能力 10 k W	2	(12号)513室 R×1
GHP5-4D	室内機 2方向 既存SGP-SSH112K1 冷房能力 11.2 k W 暖房能力 13.2 k W	1	(12号)514室 R×1
GHP5-4E	室内機 2方向 既存SGP-SSH112K1 冷房能力 11.2 k W 暖房能力 13.2 k W	1	(12号)512B室 R×1
GHP5-4F	室内機 4方向 既存SGP-SH140K1 冷房能力 14 k W 暖房能力 16 k W	2	(12号)505室 R×1
GHP5-4G	室内機 4方向 既存SGP-SH140K1 冷房能力 14 k W 暖房能力 16 k W	2	(12号)504室 R×1

12号館 空調機器表 1 (更新)			
機器番号等	機器仕様	台数	設置場所等
ACM73	ビル用マルチ室外機 (既存SGP-H710M3GZ) (既存GHP2-2) 冷房能力 73 k W 暖房能力 82.5 k W	1	12号館屋上 (東)
ACM4T	室内機 2方向 既存SGP-SSH45K1 冷房能力 4.5 k W 暖房能力 5 k W	5	(12号)209A室 R×5 (12号)214B~216A室
ACM5T	室内機 2方向 既存SGP-SSH56K1 冷房能力 5.6 k W 暖房能力 6.3 k W	4	(12号)207B R×4 (12号)214A (12号)208
ACM7T	室内機 2方向 既存SGP-SSH71K1 冷房能力 7.1 k W 暖房能力 8 k W	2	(12号)207A室 R×2 (12号)216B室
ACM9T	室内機 2方向 既存SGP-SSH90K1 冷房能力 9 k W 暖房能力 10 k W	1	(12号)209B室 R×1
ACM73	ビル用マルチ室外機 (既存SGP-H710M3GZ) (既存GHP5-2) 冷房能力 73 k W 暖房能力 82.5 k W	1	12号館屋上 (東)
ACM5T	室内機 2方向 既存SGP-SSH56K1 冷房能力 5.6 k W 暖房能力 6.3 k W	1	(12号)516B R×1
ACM7T	室内機 2方向 既存SGP-SSH71K1 冷房能力 7.1 k W 暖房能力 8 k W	1	(12号)516A室 R×1
ACM7F	室内機 4方向 既存SGP-SH71K1 冷房能力 7.1 k W 暖房能力 8 k W	4	(12号)508室 R×2 (12号)509B室
ACM9F	室内機 4方向 既存SGP-SH90K1 冷房能力 9 k W 暖房能力 10 k W	2	(12号)509A室 R×1
ACM73	ビル用マルチ室外機 (既存SGP-H710M3GZ) (既存GHP1-5) 冷房能力 73 k W 暖房能力 82.5 k W	1	12号館屋上 (西)
ACM7T	室内機 2方向 既存SGP-SSH71K1 冷房能力 7.1 k W 暖房能力 8 k W	1	(12号)110B室 R×1
ACM7T	室内機 2方向 既存SGP-SSH71K1 冷房能力 7.1 k W 暖房能力 8 k W	1	(12号)110A室 R×1
ACM9F	室内機 4方向 既存SGP-SH90K1 冷房能力 9 k W 暖房能力 10 k W	4	(12号)103室 R×2 (12号)101室
ACM11F	室内機 4方向 既存SGP-SH112K1 冷房能力 11.2 k W 暖房能力 13.2 k W	2	(12号)102室 R×1
ACM100	ビル用マルチ室外機 (既存SGP-HW560M3GZ、SGP-HW450M3GZ) (既存GHP5-4) 冷房能力 100 k W 暖房能力 112 k W	1	12号館屋上 (西)
ACM5T	室内機 2方向 既存SGP-SSH56K1 冷房能力 5.6 k W 暖房能力 6.3 k W	1	(12号)503B R×1
ACM7T	室内機 2方向 既存SGP-SSH71K1 冷房能力 7.1 k W 暖房能力 8 k W	1	(12号)512A室 R×1
ACM9T	室内機 2方向 既存SGP-SSH90K1 冷房能力 9 k W 暖房能力 10 k W	2	(12号)513室 R×1
ACM11T	室内機 2方向 既存SGP-SSH112K1 冷房能力 11.2 k W 暖房能力 13.2 k W	2	(12号)514室 R×2 (12号)512B室
ACM14F	室内機 4方向 既存SGP-SH140K1 冷房能力 14 k W 暖房能力 16 k W	4	(12号)505室 R×2 (12号)504室

- 表示冷房・暖房能力は、JIS B 8616条件時に補正した定格能力 (冷媒配管補正値) を示す。
  - 室内機はドレンアップメカ組込みとする。
  - 本工事では 高調波対策をしないものとし、別途工事で 高調波対策を 将来対応が可能な機器とする。(対応機器全て)
  - 空調機はグリーン購入法適合品とする。(対応機器全て)
  - 防振装置として (12号館屋上に設置) 室外機はスプリング防振架台 室内機は防振吊金具を設置する (12号館屋上の室外機は鉄骨架台の上に設置されているので 更新にあたってはCチャンネルを鉄骨架台に渡す等で設置を行うこと。)
  - リモコンスイッチはワイヤードリモコンとする。各機器についてはメーカー標準フィルターや標準付属品は設置とする。
  - 設置前に既存機器設置状況を確認し、設置後、室内状況等により 各種調整を行うこと。
  - 機器については高効率機器 (メーカーが最上位機種として位置づけているもの (APFが7, COPが4等) ) とし、リモコンはスケジュールタイマー機能があるものとする。
  - (室外機) 室外機の熱交換フィンガードは別途とする。リニューアルキットは組み込むこととする。
  - 既存機器からのリプレイス更新にあたっては、採用する機器が必要とする仕様等を確認の上、必要となる処置調整等を行うこと。  
(本工事で室外機電源配線等を行うが、製造会社仕様や公共仕様を参照して 設置機器に必要な仕様の設備工事を行うこと)  
(マルチ空調等は 基礎の上に載っていて更新後も 基礎の上に設置とするが 室外機設置できるスペースの関係で機器設置位置の調整が必要な場合があるので適宜調整を行うこと。)
- 既存GHP空調用電源については 室外機は (屋上盤) 3相200V、室内機は (室内盤) 単相200Vとする。既存EHP空調 (室外機) 用電源は3相200Vとする。

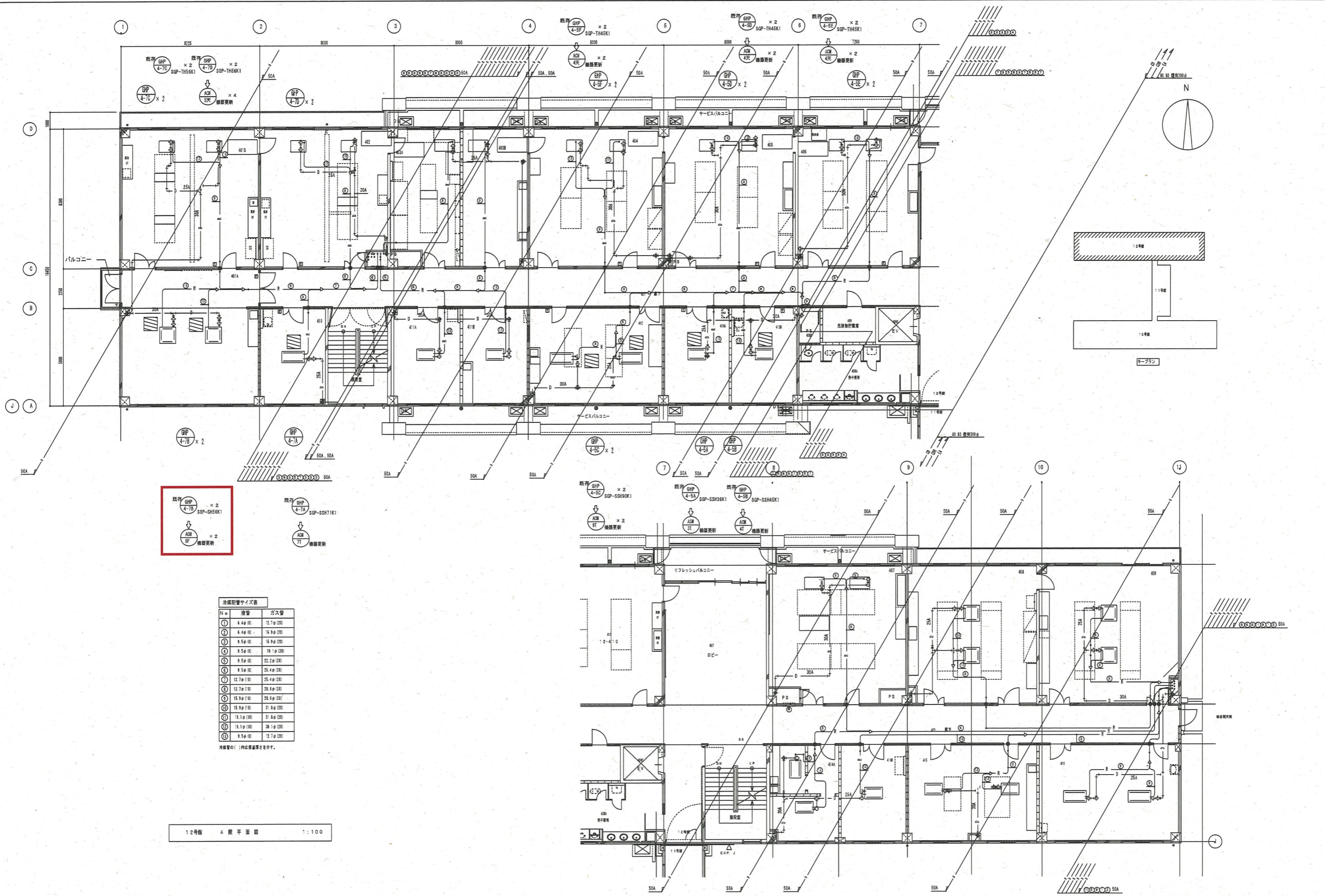
京都工芸繊維大学施設環境安全課				
工事名称 京都工芸繊維大学 (松ヶ崎) 11号館等空調改修工事				
図面名称	課長	副課長	係長	主任
12号館 (既存撤去、更新) 機器表 1	上田	中村	梅上	村上
図面製作年月	令和8年4月		図番	4

12号館 空調機器表 2 (既存撤去)			
機器番号等	機器仕様	台数	設置場所等
GHP4-7	GHP室外機 既存SGP-H450M3G (冷媒ガスR410A 18.3kg) 冷房能力 45 kW 暖房能力 50 kW	1	12号館屋上
GHP4-7A	室内機 2方向 既存SGP-SSH71K1 冷房能力 7.1 kW 暖房能力 8 kW	1	(12号)410 R×1
GHP4-7B	室内機 4方向 既存SGP-SH56K1 冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW	2	(12号)401A R×1
GHP4-7C	室内機 天吊り 既存SGP-TH56K1 冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW	2	(12号)401B R×1
GHP4-7D	室内機 天吊り 既存SGP-TH56K1 冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW	2	(12号)402 R×1
GHP2-5	GHP室外機 既存SGP-H450M3G (冷媒ガスR410A 19.3kg) 冷房能力 45 kW 暖房能力 50 kW	1	12号館屋上
GHP2-5A	室内機 2方向 既存SGP-SSH36K1 冷房能力 3.6 kW 暖房能力 4 kW	1	(12号)212A R×1
GHP2-5B	室内機 2方向 既存SGP-SSH36K1 冷房能力 3.6 kW 暖房能力 4 kW	1	(12号)211B R×1
GHP2-5C	室内機 2方向 既存SGP-SSH90K1 冷房能力 9 kW 暖房能力 10 kW	1	(12号)212B室 R×1
GHP2-5D	室内機 天吊り 既存SGP-TH71K1 冷房能力 7.1 kW 暖房能力 8 kW	1	(12号)213A室 R×1
GHP2-5E	室内機 天吊り 既存SGP-TH90K1 冷房能力 9 kW 暖房能力 10 kW	1	(12号)205A室 R×1
GHP2-5F	室内機 天吊り 既存SGP-TH112K1 冷房能力 11.2 kW 暖房能力 13.2 kW	1	(12号)204B室 R×1
GHP5-3	GHP室外機 既存SGP-H450M3GZ (冷媒ガスR410A 19kg) 冷房能力 45 kW 暖房能力 50 kW	1	12号館屋上
GHP5-3A	室内機 2方向 既存SGP-SSH56K1 冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW	1	(12号)515A R×1
GHP5-3B	室内機 2方向 既存SGP-SSH71K1 冷房能力 7.1 kW 暖房能力 8 kW	1	(12号)514B室 R×1
GHP5-3C	室内機 2方向 既存SGP-SH56K1 冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW	1	(12号)515B R×1
GHP5-3D	室内機 4方向 既存SGP-SH71K1 冷房能力 7.1 kW 暖房能力 8 kW	2	(12号)507室 R×1
GHP5-3E	室内機 4方向 既存SGP-SH71K1 冷房能力 7.1 kW 暖房能力 8 kW	2	(12号)506室 R×1
GHP2-6	GHP室外機 既存SGP-H560M3GZ (冷媒ガスR410A 27.8kg) 冷房能力 56 kW 暖房能力 63 kW	1	12号館屋上
GHP2-6A	室内機 2方向 既存SGP-SSH45K1 冷房能力 4.5 kW 暖房能力 5 kW	1	(12号)202B室 R×1
GHP2-6B	室内機 2方向 既存SGP-SSH71K1 冷房能力 7.1 kW 暖房能力 8 kW	1	(12号)210室 R×1
GHP2-6C	室内機 2方向 既存SGP-SSH90K1 冷房能力 9 kW 暖房能力 10 kW	1	(12号)202A室 R×1
GHP2-6D	室内機 天吊り 既存SGP-TH90K1 冷房能力 9 kW 暖房能力 10 kW	4	(12号)201室 R×2
GHP4-5	GHP室外機 既存SGP-H560M3GZ (冷媒ガスR410A 23kg) 冷房能力 56 kW 暖房能力 63 kW	1	12号館屋上
GHP4-5A	室内機 2方向 既存SGP-SSH36K1 冷房能力 3.6 kW 暖房能力 4 kW	1	(12号)413A室 R×1
GHP4-5B	室内機 2方向 既存SGP-SSH45K1 冷房能力 4.5 kW 暖房能力 5 kW	1	(12号)413B室 R×1
GHP4-5C	室内機 2方向 既存SGP-SSH90K1 冷房能力 9 kW 暖房能力 10 kW	2	(12号)412室 R×1
GHP4-5D	室内機 天吊り 既存SGP-TH45K1 冷房能力 4.5 kW 暖房能力 5 kW	2	(12号)405室 R×1
GHP4-5E	室内機 天吊り 既存SGP-TH45K1 冷房能力 4.5 kW 暖房能力 5 kW	2	(12号)406室 R×1
GHP4-5F	室内機 天吊り 既存SGP-TH45K1 冷房能力 4.5 kW 暖房能力 5 kW	2	(12号)404室 R×1

12号館 空調機器表 2 (更新)			
機器番号等	機器仕様	台数	設置場所等
ACM45	ビル用マルチ室外機 (既存SGP-H450M3G) (既存GHP4-7) 冷房能力 45 kW 暖房能力 50 kW	1	12号館屋上(西)
ACM7T	室内機 2方向 既存SGP-SSH71K1 冷房能力 7.1 kW 暖房能力 8 kW	1	(12号)410室 R×1
ACM5F	室内機 4方向 既存SGP-SH56K1 冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW	2	(12号)401A R×1
ACM5天	室内機 天吊り 既存SGP-TH56K1 冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW	4	(12号)401B R×2 (12号)402
ACM45	ビル用マルチ室外機 (既存SGP-H450M3G) (既存GHP2-5) 冷房能力 45 kW 暖房能力 50 kW	1	12号館屋上
ACM3T	室内機 2方向 既存SGP-SSH36K1 冷房能力 3.6 kW 暖房能力 4 kW	2	(12号)212A R×2 (12号)211B
ACM9T	室内機 2方向 既存SGP-SSH90K1 冷房能力 9 kW 暖房能力 10 kW	1	(12号)212B室 R×1
ACM7天	室内機 天吊り 既存SGP-TH71K1 冷房能力 7.1 kW 暖房能力 8 kW	1	(12号)213A室 R×1
ACM9天	室内機 天吊り 既存SGP-TH90K1 冷房能力 9 kW 暖房能力 10 kW	1	(12号)205A室 R×1
ACM11天	室内機 天吊り 既存SGP-TH112K1 冷房能力 11.2 kW 暖房能力 13.2 kW	1	(12号)204B室 R×1
ACM45	ビル用マルチ室外機 (既存SGP-H450M3GZ) (既存GHP5-3) 冷房能力 45 kW 暖房能力 50 kW	1	12号館屋上
ACM5T	室内機 2方向 既存SGP-SSH56K1 冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW	2	(12号)515A R×2 (12号)515B
ACM7T	室内機 2方向 既存SGP-SSH71K1 冷房能力 7.1 kW 暖房能力 8 kW	1	(12号)514B室※ R×1
ACM7F	室内機 4方向 既存SGP-SH71K1 冷房能力 7.1 kW 暖房能力 8 kW	4	(12号)507室 R×2 (12号)506室
ACM56	ビル用マルチ室外機 (既存SGP-H560M3GZ) (既存GHP2-6) 冷房能力 56 kW 暖房能力 63 kW	1	12号館屋上
ACM4T	室内機 2方向 既存SGP-SSH45K1 冷房能力 4.5 kW 暖房能力 5 kW	1	(12号)202B室※ R×1
ACM7T	室内機 2方向 既存SGP-SSH71K1 冷房能力 7.1 kW 暖房能力 8 kW	1	(12号)210室 R×1
ACM9T	室内機 2方向 既存SGP-SSH90K1 冷房能力 9 kW 暖房能力 10 kW	1	(12号)202A室 R×1
ACM9天	室内機 天吊り 既存SGP-TH90K1 冷房能力 9 kW 暖房能力 10 kW	4	(12号)201室 R×2
ACM56	ビル用マルチ室外機 (既存SGP-H560M3GZ) (既存GHP4-5) 冷房能力 56 kW 暖房能力 63 kW	1	12号館屋上
ACM3T	室内機 2方向 既存SGP-SSH36K1 冷房能力 3.6 kW 暖房能力 4 kW	1	(12号)413A室 R×1
ACM4T	室内機 2方向 既存SGP-SSH45K1 冷房能力 4.5 kW 暖房能力 5 kW	1	(12号)413B室 R×1
ACM9T	室内機 2方向 既存SGP-SSH90K1 冷房能力 9 kW 暖房能力 10 kW	2	(12号)412室 R×1
ACM4天	室内機 天吊り 既存SGP-TH45K1 冷房能力 4.5 kW 暖房能力 5 kW	6	(12号)405室 R×3 (12号)406室 (12号)404室

- 表示冷房・暖房能力は、JIS B 8616条件時に補正した定格能力(冷媒配管補正済値)を示す。
  - 室内機はドレンアップメカ組込みとする。
  - 本工事では高調波対策をしないものとし、別途工事で高調波対策を将来対応可能な機器とする。(対応機器全て)
  - 空調機はグリーン購入法適合品とする。(対応機器全て)
  - 防振装置として(12号館屋上に設置)室外機はスプリング防振架台 室内機は防振吊金具を設置する  
(12号館屋上の室外機は鉄骨架台の上に設置されているので 更新にあたってはCチャンネルを鉄骨架台に渡す等で設置を行うこと。)
  - リモコンスイッチはワイヤードリモコンとする。各機器についてはメーカー標準フィルターや標準付属品は設置とする。
  - 設置前に既存機器設置状況等を確認し、設置後、室内状況等により各種調整を行うこと。
  - 機器については高効率機器(メーカーが最上位機種として位置づけているもの(APFが7, COPが4等))とし、リモコンはスケジュールタイマー機能があるものとする。
  - (室外機)室外機の熱交換フィンガードは別途とする。リニューアルキットは組み込むこととする。
  - 既存機器からのリブレイス更新にあたっては、採用する機器が必要とする仕様等を確認の上、必要となる処置調整等を行うこと。  
(本工事で室外機電源配線等も行うが、製造会社仕様や公共仕様を参照して 設置機器に必要な仕様の設備工事を行うこと)  
(マルチ空調等は 基礎の上に乗って更新後も 基礎の上に設置とするが 室外機設置できるスペースの関係で機器設置位置の調整が必要な場合があるので適宜調整を行うこと。)
- 既存GHP空調用電源については 室外機は(屋上盤)3相200V、室内機は(室内盤)単相200Vとする。既存EHP空調(室外機)用電源は3相200Vとする。

京都工芸繊維大学施設環境安全課				
工事名称 京都工芸繊維大学(松ヶ崎)11号館等空調改修工事				
図面名称	課長	副課長	係長	主任
12号館(既存撤去、更新)機器表 2	認印	上田	中村	梅上
図面製作年月	令和8年4月			図番 5



冷暖配管サイズ表

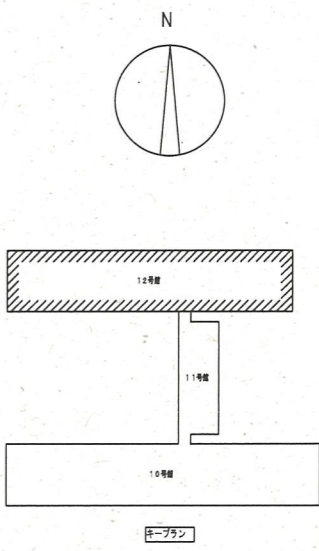
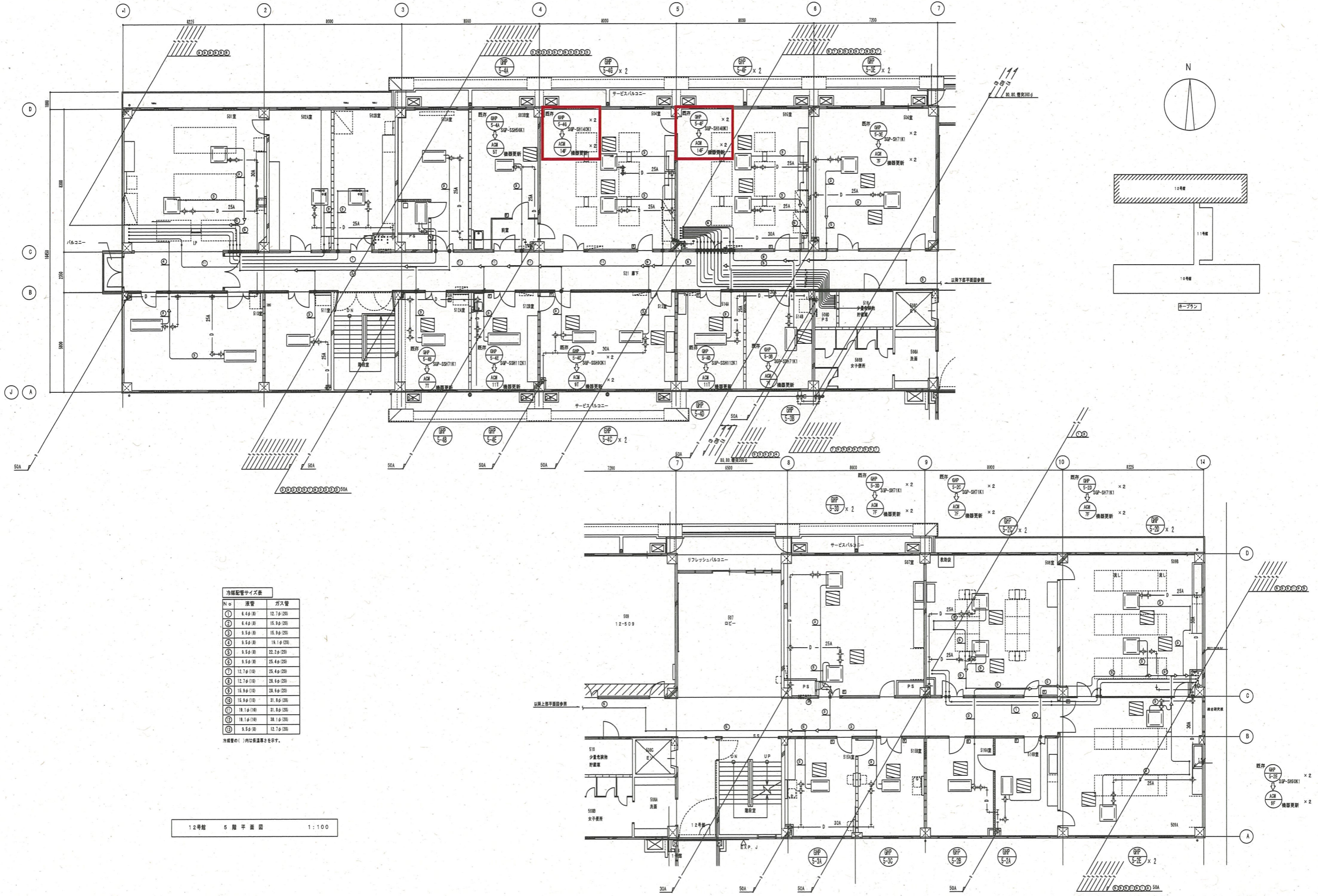
No	冷管	ガス管
①	6.4φ (R)	12.7φ (20)
②	6.4φ (R)	15.9φ (20)
③	6.5φ (R)	15.9φ (20)
④	6.5φ (R)	19.1φ (20)
⑤	6.5φ (R)	22.2φ (20)
⑥	6.5φ (R)	25.4φ (20)
⑦	12.7φ (10)	25.4φ (20)
⑧	12.7φ (10)	28.6φ (20)
⑨	15.9φ (10)	28.6φ (20)
⑩	15.9φ (10)	31.8φ (20)
⑪	19.1φ (10)	31.8φ (20)
⑫	19.1φ (10)	38.1φ (20)
⑬	6.5φ (R)	12.7φ (20)

冷暖管の( )内は標準径を示す。

12号館 4階平面図 1:100

本工程においては既存位置でのリプレイス更新等が主であり、大がかりな天井改修などはないが、  
 で示す箇所については改修作業に伴って天井ボードの一時取り外し・復旧等を見込むこと。

京都工芸繊維大学施設環境安全課				
工事名称	京都工芸繊維大学(松ヶ崎)11号館等空調改修工事	課長	係長	主任
図面名称	12号館4階 空調平面図(既存・改修)	認印	上田	中村 梅上 村上
縮尺	1/100	総枚数	24	図書
図面作成年月日	令和 8年 4月	図書	12	



冷暖配管サイズ表

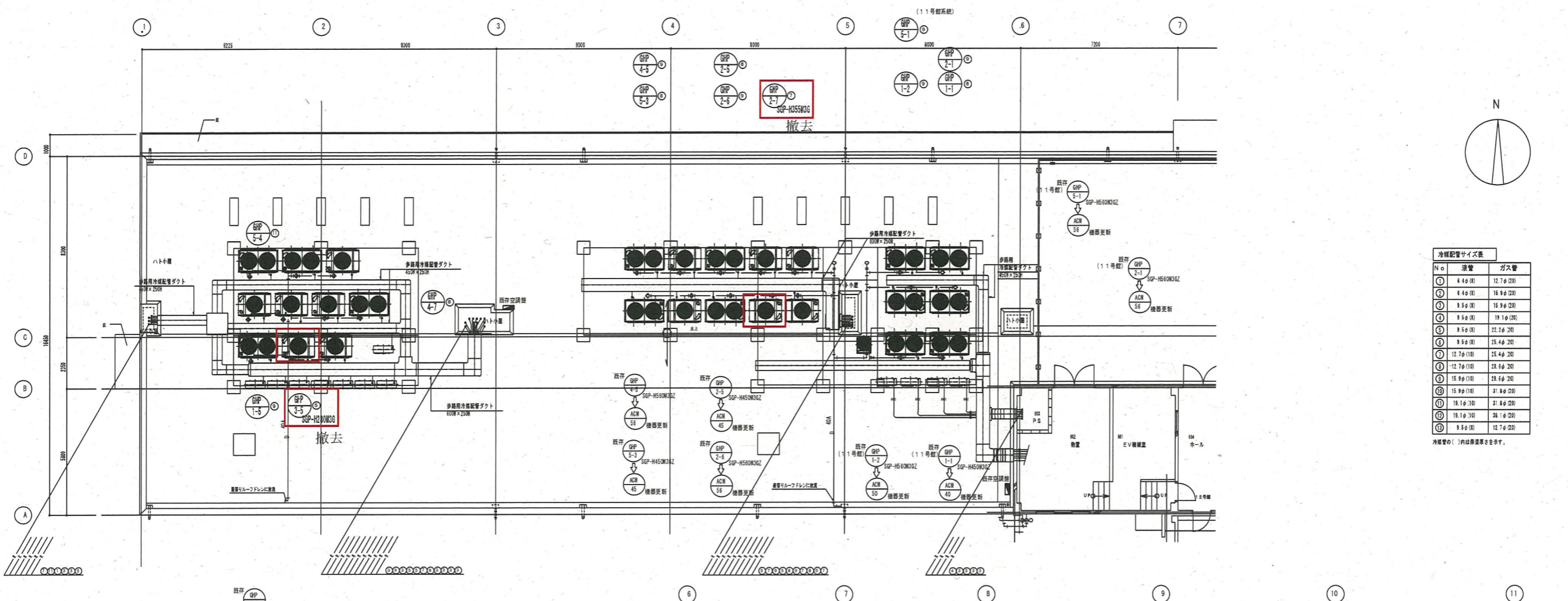
N.φ	液管	ガス管
①	6.4φ (R)	12.7φ (20)
②	6.4φ (R)	15.3φ (20)
③	6.5φ (R)	15.3φ (20)
④	6.5φ (R)	18.1φ (20)
⑤	6.5φ (R)	22.2φ (20)
⑥	6.5φ (R)	25.4φ (20)
⑦	12.7φ (10)	25.4φ (20)
⑧	12.7φ (10)	28.6φ (20)
⑨	15.6φ (10)	28.6φ (20)
⑩	15.6φ (10)	31.6φ (20)
⑪	18.1φ (10)	31.6φ (20)
⑫	18.1φ (10)	38.1φ (20)
⑬	6.5φ (R)	12.7φ (20)

冷暖管( )内は保冷層を必ず示す。

12号館 5階平面図 1:100

本工事においては既存位置でのリプレイス更新等が主であり、大がかりな天井改修などはないが、  
 で示す箇所については改修作業に伴って天井ボードの一時取り外し・復旧等を見込むこと。

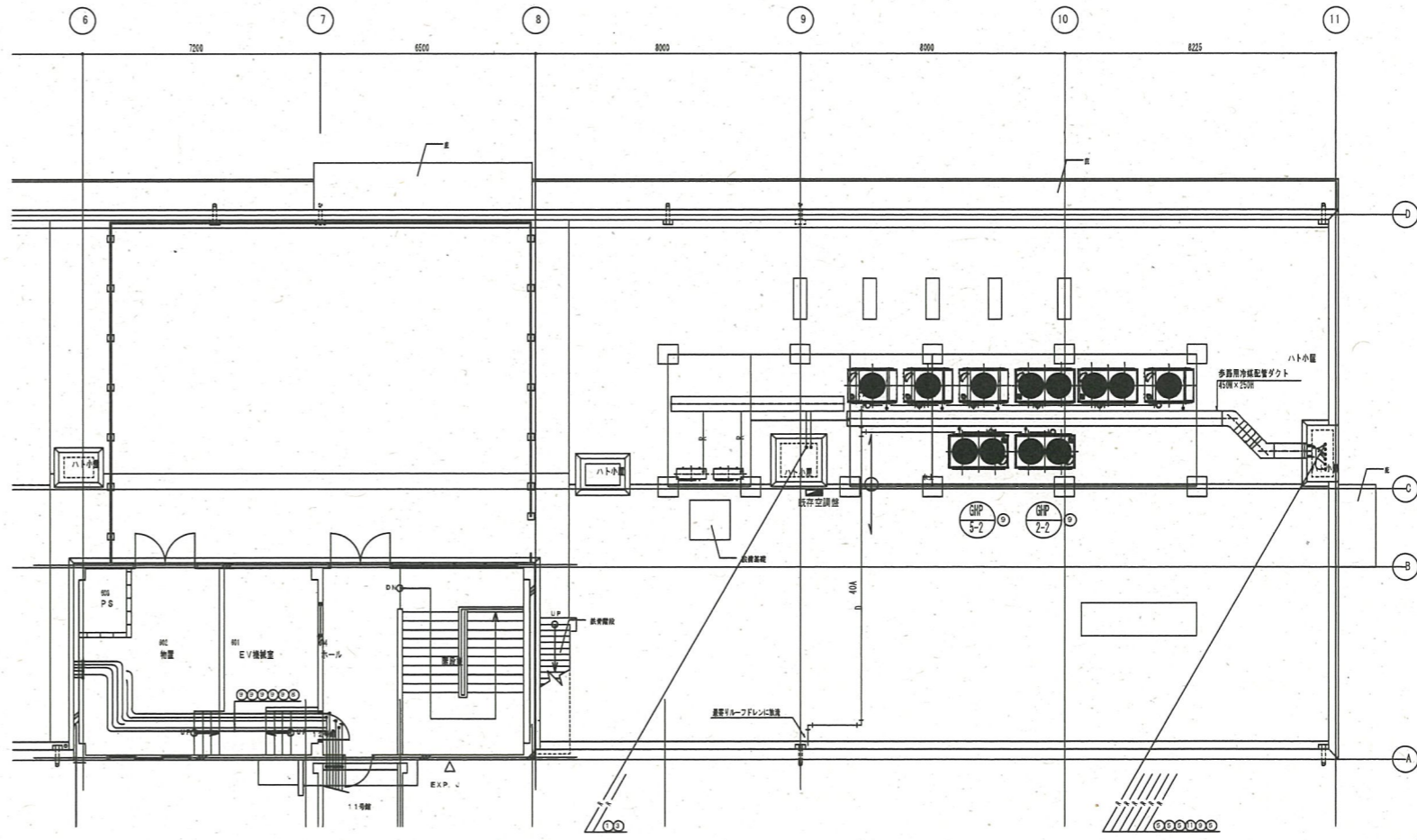
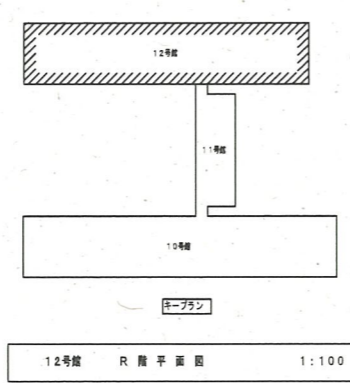
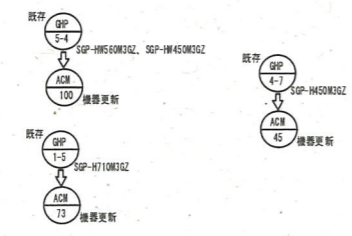
京都工芸繊維大学施設環境安全課				
工事名称	京都工芸繊維大学(松ヶ崎)11号館等空調設備改修工事	課長	副課長	係長
図面名称	12号館5階空調平面図(既存・改修)	認印	上田	中村
縮尺	1/100	主任	梅上	村上
図面作成年月日	令和 8年 4月	総枚数	24	図番
			13	



冷媒配管サイズ表

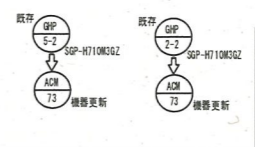
No	液管	ガス管
①	φ4.0 (R)	12.7φ (2D)
②	φ4.0 (R)	16.0φ (2D)
③	φ5.0 (R)	16.0φ (2D)
④	φ5.0 (R)	19.1φ (2D)
⑤	φ5.0 (R)	22.2φ (2D)
⑥	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
⑦	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
⑧	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
⑨	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
⑩	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
⑪	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
⑫	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
⑬	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
⑭	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
⑮	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
⑯	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
⑰	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
⑱	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
⑲	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
⑳	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㉑	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㉒	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㉓	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㉔	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㉕	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㉖	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㉗	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㉘	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㉙	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㉚	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㉛	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㉜	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㉝	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㉞	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㉟	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㊱	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㊲	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㊳	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㊴	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㊵	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㊶	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㊷	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㊸	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㊹	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㊺	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㊻	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㊼	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㊽	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㊾	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)
㊿	φ5.0 (R)	25.4φ (2D)

冷媒管の①内は標準管径を示す。



12号館屋上に 残置放棄されている既存GHP室外機2台  
 ・GHP2-7 (SGP-H355M3G)  
 ・GHP3-5 (SGP-H280M3G)  
 についても 本工事で 撤去を行うこと。  
 なお、GHP2-7 (SGP-H355M3G) 分については冷媒 (R410A 15.5kg) の回収・処理も含むものとする

本工事で 電源盤から室外機までの電源配線工事を行うが、既存で設備用ダクトが有る場所は 設備用ダクト内に電源配線を入れてもよい



京都工芸繊維大学施設環境安全課

工事名称	京工芸繊維大学(吹ヶ崎)11号館等空調改修工事			
図面名称	12号館R階空調平面図(既存・改修)			
縮尺	1/100	認印	上田	中村
図面作成年月日	令和 8年 4月	枚数	24	図番
			24	14